

屋外 ウィチタ コンベンションセンター — 朝

ジョアナが車を停める。コンベンションセンターに向かって歩き始める。

声 (オフスクリーン)

ジョアナ・ミルズ

カート、30代、ハンサムな労働者風、しかし危険な雰囲気、男が近づいてくる。明らかに前科者。ジョアナは歩く速度を上げる。

ジョアナ

ここで何してるのカート？

カート

コンベンションに来たんだよ。君と同じ。

ジョアナ

あなたはセントルイスの船場の荷揚げ係でしょ。
ここはカンザスの牧場機械のコンベンションよ。

カート

新しい仕事でも探そうと思ってね。
交流も少ししようかと。

ジョアナ

そうね。朝からずっと待ち伏せしてたの、
それともホテルから尾行してきた？

カートはストーカーとしてのテクニックをまだ見せない。

カート

俺の話を少し聞いてくれ。

彼は手を彼女の肩に乗せる。それを彼女は払い落とし、冷酷に。

ジョアナ

もう一度触ったら警察呼ぶからね。絶対。

カートは何も言わない。ジョアナは立ち去るが、カートが追う。

カート

この一週間俺がずっと何考えてたかわかる？
ラピッドシティだよ。バッドランズ（国立公園）にドライブに
行って、夕陽を見ながらキスしたよね。

ジョアナ

何が言いたいの、カート？

カート

今晚またあそこに行こう。あの続きをしよう。

ジョアナ

ああ、あなたがブチ切れて、部屋を滅茶苦茶にして、モーター6の
全国のチェーンから出禁になった前の事？

カート

腹が立ったんだよ。ジョアナ。

ジョアナ

あなたはそれから半年間、国中私をストーカーしたのよ。

ジョアナは指で目頭を掴む。酷い頭痛が・・・

カート

ねえ、今日は君のバースデーだろ。
せめてビールくらい奢らせてくれよ。

ジョアナ

カート、自分のためにも、もうやめにしたら。
本当に、恥ずかしいわよ。

カート

僕が嫌だと言ったら？

ジョアナ

私には接近禁止命令があるのよ。
あなたにチョイスはないわ。

カート

あのね、その事で僕は来たんだ。一年経ったよ。
命令は3日前に失効してる。

カートが不気味な笑みを浮かべる。彼はこのために一年待っていたのだ。

カート（続き）

更新しなかったよね？

ジョアナは彼の目を直視する。

ジョアナ

私に近づくんじゃないわよ。

彼女は足早に立ち去る。

